

マツバラシダ

Psilotum nudum

マツバラシダ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 II



シダ植物

暖地性の常緑シダ植物。日本では、北は石川県，宮城県まで分布するが，全国的に個体数が激減している。植物体は茎だけで，根も葉も未発達。地上部は緑色無毛で高さ10～30cm，松の葉を立てたような形に枝が並んでおり，二又ふたまたに分枝する。茎には稜りょうがあり，断面は三角形。胞子のう群は緑色であるが，熟すと黄色になる。かつては県内に広く分布していたが，道路工事などの開発の影響を受けたり，園芸用に採取されたりして，生育地が年々少なくなっている。

(写真：辻 寛文 文：高岡芳憲)

県内分布 中津・宇佐低地，耶馬溪・国東丘陵地，日田低地・丘陵地，別府湾沿岸域，大分川・大野川丘陵地，豊後水道域，大野川上流域

分布域 本州（宮城・石川県以西），四国，九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島），沖縄
韓国済州島，中国南部から世界の熱帯・亜熱帯

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，耶馬日田英彦山，祖母傾]